

# 労働安全衛生・保安防災



詳細説明とデータはサステナビリティレポート2021(9月発行予定)をご参照ください。9月の発行後にリンクを更新します。2019年度実績につきましてはサステナビリティレポート2020をご覧ください。

## 基本的な考え方

JSRグループで働くすべての就業者(従業員、協力会社員)が安全に働き、幸せだと感じる会社を目指すとともに、地域社会の責任ある一員として環境・安全に配慮した事業活動を行い続けます。「安全は製造業で働く全ての人にとって最も大切な価値であり、事業活動の大前提である」という考えの下、JSRでは、『安全衛生基本理念』、および『保安管理の基本方針』を定め無事故・無災害を目指します。

### ○安全衛生基本理念

「安全」は、我々にとって、何よりも優先すべき大切な価値であり、すべての活動の基盤です。日々の仕事を終え、無事に帰るといふ、当たり前の幸せのために、安全、安心な職場作りと心身の健康作りに努めます。

### ○安全衛生基本理念の行動指針

1. どのような状況下でも、常に安全を意識して行動する。
2. 決められたルールを遵守し、安全行動を率先する。
3. 顕在または潜在するリスクの把握と低減に努め、安全を確保する。
4. 働きやすい職場環境作り、心身の健康増進に努める。
5. コミュニケーションと創意工夫で全員参画の活動を目指す。

### ○保安管理の基本方針

- ① 高い安全行動  
安全衛生基本理念が浸透、行動指針が自分ごととして定着し、主体的安全活動により保安力が向上している。
- ② 人財・組織力の強化  
組織運営に必要な教育訓練プログラムの確立、実行により、高い個人スキルと組織能力、健全な組織風土を維持している。
- ③ 最適なリスク管理と保安対策  
リスク重要度に応じた保安対策が、新技術を活用して効率的・効果的に実行されている。

## 社長メッセージ



代表取締役社長兼COO 川橋 信夫

化学製造会社として、何よりも大切な不動の考え方が工場の安全・安定操業です。

これをなくして会社は成り立たず、存続していくことができません。

安全は事業継続の基盤であり、会社が成長していくための投資です。安全を経営の重要課題として取り組み、地域社会への安心の提供、JSRグループの従業員および協力会社員の皆さまが働いて幸せだという会社に育てること、継続させていくことが私の責任です。

JSRがサステナブルで社会から信頼される会社であり続けることを目指します。

経営トップとして安全基盤の整備、安全文化の醸成を指揮し、組織の安全を支える保安力の向上に努めさせ、安全に強い人づくりにも取り組んでいきます。

たとえば事業所の安全監査に参加し、安全の取り組みや指標について報告を直接聞き、課題について一緒に考え、解決することです。昨年監査後には筑波研究所に安全専門部署を設置しました。また、折に触れ安全が事業の基盤であることについてメッセージを発信し続けることも重要と考えています。

コロナ禍の中、従業員の業務形態も変化してきました。その中で変わらないことは現場の安全確保です。人と人の接触が少なくなる中、効率的かつ効果的な安全・保安活動に変化していく必要があり、そのために必要な設備強化の資源は継続的に確保し当社グループすべての無事故・無災害を目指します。

## 安全担当役員メッセージ



安全担当役員 高橋 純一

JSRグループは昨年、CSR活動をサステナビリティ推進活動として一新し、すべてのステークホルダーに貢献するべく組織体制の見直しを行いました。環境安全品質担当役員として重点指向で労働安全衛生・保安管理についてレベルアップの取り組みを続けています。

リスクアセスメント活動、保安認定更新、事業所安全監査、安全衛生フォーラム、安全理念方針の教育、スマート保安、設備強化、工事安全など多岐にわたり事故・災害ゼロに向けた活動を続けています。

これらの取り組みを続け、当社グループの従業員のみならず、協力会社員の皆さまにも安全な職場を提供し、地域社会、顧客、株主などすべてのステークホルダーの皆さまの価値創造に向けて、安全に強い化学製造会社を目指してまいります。